

こん虫のせい虫の体は、どんなつくりになっているの？

1 単元名

第3学年 こん虫のかんさつ（啓林館）

2 単元の目標

身の回りの昆虫について、探したり育てたりする中で、これらのようすや周辺の環境、成長の過程や体のつくりに着目して、それらを比較しながら、生物と環境とのかかわり、昆虫の成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、おもに差異点や共通点をもとに、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

3 使った ICT 機器・ソフトウェア

・タブレット PC ・電子黒板 ・タブレット PC のカメラ

4 授業の実際と活用の効果

○この単元では、いろいろな昆虫の体のつくりを調べ、どの昆虫も、頭・むね・はらからできていることを理解させる必要がある。

校庭でみつけたいろいろな昆虫をクラス全体で共有する活動をカメラと、電子黒板を使って行った。

昆虫が苦手な児童も写真をとることで身近にいる昆虫をしっかり観察することができた。また、拡大してみる事もでき、頭・胸・腹をとらえやすく、電子黒板で話し合いながら、部位に分ける活動ができた。

○また、児童の撮った写真を共有することで、いろいろな昆虫の共通点も見いだすことができた。

5 実践上の課題

○カメラ機能の扱いに慣れていない児童は、焦点があわず、体の部位がはっきりと分かるような写真がなかなか撮れなかった。機器の扱いに慣れさせていくことが必要である。



図1 昆虫を写真に撮る児童



図2 電子黒板で説明する児童